



令和2年第2回臨時会の様子（5月13日開催）

新型コロナウイルス感染症対策として議員はじめ町執行部、傍聴者に対し、マスクの着用、手指消毒の徹底を実施。傍聴席は間隔を空けて座るように場所の指定を行いました。



あいづばんげ

議会だより

198号

令和2年7月22日発行
福島県会津坂下町議会

第2回定例会（6月議会）目次

コロナ注目!（新型コロナウイルス関連予算）

- ◆ 予算・議案の審議・結果 2～5 P
- ◆ 請願の審査・賛否の状況 6～7 P
- ◆ 6人が町政を問う（一般質問） 8～11 P
- ◆ 第2回臨時会の内容 12～13 P
- ◆ みんなのひろば・編集後記 14 P

新型コロナウイルス対策!!

町独自支援策を全員賛成で可決

感染防止

- 災害時に避難施設としても活用する公共施設に飛沫防止パーテーションや段ボールベッド、空気清浄器などを配備
- 朝の通学時の路線バスについて、密閉、密集、密接の「3密」を防ぐために3路線について増便

町民への生活支援

- 全世帯へマスクの配布（1世帯50枚入り1箱）※6人以上は2箱
- 一般家庭用水道基本料金3ヶ月分の免除（8月～10月請求分）
- 学校給食停止期間（5月21日から5月29日）の幼・小・中学校への牛乳提供

大学生等への生活支援

- 町出身で県外在住の学生へ8,000円相当の町産品を年2回発送
7月と11月に発送予定



町内商工業者等への支援

- 営業自粛要請に応じて県から協力金を受けた事業者や4月21日から5月25日までの間、定休日を除き3日間以上、町内の施設の休止や営業時間の短縮の対策を講じた事業者に対して給付
- 感染防止対策を講じた事業者には一律3万円を給付 ただし営業自粛協力事業者応援金との重複は不可

農業者等への支援

- 農作物の流通減退等による影響のある農業者への支援として、経営水田面積30a以上の農業者へ2万円支給

第2回 (6月) 定例会

6月4日から6月12日までの9日間の会期で開催され、条例の改正6件、令和2年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算7件、人事案件10件、追加案件1件、その他1件、合計25件の議案が町長より提案されました。人事案件10件（農業委員会委員）については、開会初日に全員賛成で同意しました。その他については6月12日に採決し審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

また、8日と9日に一般質問が行われ6名の議員が登壇し町政について質問しました。さらに10日には各常任委員会を開き提出議案、事業の進捗状況について審議しました。本定例会中、請願2件が付託され、2件とも採択となり、関係省庁へ意見書を提出することになりました。以下、主な内容をお知らせします。

令和2年度一般会計補正予算（第3号）の主な内容

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計 補正予算（第3号）	84億 2,561万円	2億 8,505万3千円	87億 1,066万3千円

＜歳出事業（新型コロナウイルス感染症対策関連）の主な内容＞

①一般家庭用水道基本料金免除……………	39,928千円	増
②空気清浄器等備品購入費……………	12,522千円	増
③学生応援事業……………	8,020千円	増
④地域農業経営持続化支援交付金……………	19,938千円	増
⑤感染防止対策事業者応援、テイクアウト参入促進飲食店支援……………	33,220千円	増

＜歳出事業（その他）の主な内容＞

⑥人事異動による職員人件費……………	33,622千円	減
⑦地方公共団体情報システム機構への負担金……………	9,767千円	増
⑧道路整備等建設事業……………	10,700千円	増
⑨幼稚園通園運転及び補助業務委託料……………	10,266千円	減
⑩学校情報通信ネットワーク環境整備設計委託料……………	4,400千円	増
⑪予備費……………	25,575千円	増



一般会計補正予算に関する主な質疑・答弁



コミュニティ助成事業について

Q：自治会館は避難場所的役割もある。今回の新町自治会館建て替えにあたり、町は自治会と建設場所の協議は行ったのか。

A：緊急事態等についての協議は行っていない。今後は災害等の場合も含めた協議をしていきたい。

新規就農者補助金について

Q：青年就農給付金については、申請すれば何人でも給付金を受けられるのか。

A：年間所得260万円以上になるための5年間の計画書を作成し、条件をクリアすれば申請することができます。計画書内容について県から許可されれば給付金を受けられます。人数の制限はありません。

令和2年度一般会計補正予算（第3号）に対する討論

賛成

五十嵐一夫議員

新町コミュニティ助成補助について、災害時の避難への緊急支援に支障をきたすような立地で良いのか。今後は自治会館の建設にあたり立地条件等の基準を定めるなど検討課題であります。

水道料金減免補助について、無給水地区についても何か恩恵を考えなくては不公平であります。今後の執行に配慮いただくよう申し上げ賛成します。

賛成

山口 享議員

歳入では新型コロナウイルス感染症対応や地方創生臨時交付金1億150万円、繰越金が1億3,500万円も補正できたことは、昨年度の各課の努力の賜物であったと言えます。歳出では国・県同様に町としても独自策が打ち出されました。財政調整基金へ6,500万円積むことができたことは、適切な町財政運営ができると確信し賛成するものです。

人事案件「農業委員会委員」10名を全員賛成で同意

- 【再任】 波多野健悟氏（鉄砲町）
- 【再任】 薄 正喜氏（金沢）
- 【再任】 成田 嘉孝氏（金上）
- 【新任】 齋藤 恵子氏（村田）
- 【新任】 五十嵐 尚氏（西青津）
- 【新任】 鈴木 清介氏（宇内）
- 【再任】 鈴木 寿夫氏（船窪）
- 【新任】 五十嵐智子氏（大沢）
- 【新任】 小畑 修一氏（杉山）
- 【再任】 鈴木 富也氏（新町）



農業委員の仕事って何??

農地の権利移動や転用に関して、現地調査を行い審議しています。また、農家への農地集積や耕作放棄地の発生防止と解消業務を行っています。

第2回定例会に提出されたその他の議案

国民健康保険条例の一部を改正する条例

給与等の支払いを受けている国民健康保険被保険者が、新型コロナウイルスに感染し、または感染が疑われ労務に服することができなくなり、給与の全部または一部を受け取ることができなくなった場合に、傷病手当金を支給できるよう改正しました。

公民館条例の一部を改正する条例

中央公民館内の旧坂下コミュニティセンターが、令和2年5月1日から役場東分庁舎北側に移転したことに伴い、同場所を研修室として利用するため、関係条文を改正しました。

都市計画マスタープランの一部改訂

坂下厚生総合病院は令和3年度開院に向けて工事が進められており、会津西部における医療の拠点を担うものです。新計画では柳田地区を医療福祉施設にふさわしいまちづくりと、医療拠点と一体となった生活利便施設の整備を図り、地区の機能向上を進めるために一部改訂を行いました。

心身障害児指導審議会条例の一部を改正する条例

国の特別支援教育の在り方に関する特別委員会で「早期からの教育相談・支援や就学先決定のみならず、その後の一貫した支援についても助言を行うという観点から『教育支援委員会』に名称変更することが適当である。」との提言があり、あわせて一般的に使用しない表現等を適切な名称及び表現に変更しました。

財産（除雪機械）の取得

除雪機械は概ね18年が経過すると修理に要する経費の増加及び修理期間が長期間になり除雪作業に支障をきたす恐れがあるため、車両の更新により、町道延長約22kmの除雪作業を万全に進めることと併せ、処理能力向上と維持経費の軽減を図るため、国の社会資本整備総合交付金を活用し取得しました。

日立建機株式会社
ZW100-6型
8トン級
1,493万8千円（税込）



特別委員会を設置しました

◆議会改革特別委員会

委員長：物江 政博

副委員長：小畑 博司

委員：山口 享 渡部 正司
横山 智代 目黒 克博

委員長より一言

議員の資質向上を目指し議会改革を
推し進めます！



◆行財政改革検討特別委員会

委員長：佐藤 宗太

副委員長：蓮沼 文明

委員：酒井 育子 五十嵐一夫
渡部 順子 赤城 大地

委員長より一言

町民の声に耳を傾け行財政改革に
取り組んでまいります！



教えて！議会のことば Part 1



◆議事日程

その日の会議（本会議）の件名や順序を記載したものです。

◆開会

議会を開いて、法的に活動できる状態にすることをいいます。

◆会期

議会が会議を行う期間（開会日から閉会日まで）のことです。
会期は、本会議開会後に議決により決定します。

◆本会議

定例会や臨時会において、議員全員で構成する会議のことをいいます。
本会議では、議案などの審議や町議会としての最終意思決定（議決）
などを行います。

請 願 の 審 査

請願番号	受理年月日	件 名	請願者氏名	紹介議員	付 託 委員会	審査結果
第2号	令和2年5月25日	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	福島県教職員組合 中央執行委員長 國分 俊樹 福島県教職員組合両沼支部 支部長 横田 恵一	横山 智代 小畑 博司	文教厚生	採択
第3号	令和2年5月28日	福島県の漁業と漁業関係者の生活を守るために東京電力第一原発敷地内に保管されているトリチウム汚染水の海洋放出に反対する請願について	会津の大地と健康を守る会 代表 千葉 親子	横山 智代 佐藤 宗太	文教厚生	不採択

請願について私はこう考える

討 論



賛成 山口 享議員

漁業関係者の心情を考えますと、海洋放出はしてはいけないと思います。しかし国の小委員会が海洋放出と大気への水蒸気放出が現実的な選択であると提言書をまとめました。長期にわたり地上タンクでの保管は無責任であると考え委員長報告に賛成します。

反対 横山 智代議員

すでに事故により甚大な被害を被っている被災者の方々に追い打ちをかけるようなことがあってはなりません。トリチウムを含む処理水を海洋に放出すれば、福島だけでなく日本の農畜水産物の風評被害はさらに増大します。海洋放出には反対です。

反対 渡部 正司議員

既に存在する風評被害に加えて処理水の処分によって上乗せされる形で更なる風評、経済的影響がもたらされる可能性が極めて高い。地元の方の不安は大きく漁業団体等からの反対の声も根強い。地元で生きている方々の実感に寄り添うべきです。

反対 小畑 博司議員

「トリチウムを含む処理水の陸上保管を求めるのは無責任だ」と言うのは逆におかしい。
トリチウムだけではなく、ストロンチウムやヨウ素なども基準以上に含む処理水を海洋放出する方が無責任だ。漁業者に寄り添い、被災県民の一人として、これ以上犠牲を押し付けてはなりません。

反対 佐藤 宗太議員

第一に福島県漁業協同組合連合会をはじめ他地域の漁業協同組合連合会など、漁業者の反対を軽視すべきではないこと。第二に、トリチウム以外にもストロンチウム90、セシウム134などの放射性核種が残存すること。第三に福島県民の57%が反対するなど合意形成に至っていないことから委員長報告に反対します。

反対 五十嵐一夫議員

原発事故以来、福島県は風評被害が解消されていません。同じ福島県民として風評被害に苦しんできました。
被災県民の心情を無視したものであり、素直にトリチウムを含む処理水による海洋放出には反対すべきもので、委員長報告に対し反対します。

請願第3号委員長報告の「不採択」に対する討論

請願第3号 委員長報告『不採択』に対し 本会議で『採択』

極めて異例の結果

文教厚生常任委員会において審議した結果、委員長を除く6人で採決した結果、賛成3人、反対3人で可否同数となりました。会津坂下町委員会条例第15条に基づき、委員長も採決に加わり、結果「不採択」となりました。

本会議において、請願第3号に対し議長を除く13人で採決した結果、賛成7人、反対6人となり、最終的に請願第3号は「採択」となりました。

請願に賛成した議員7人で意見書を作成し、議員提出議案第8号を追加議案として提出し、賛成多数で可決されました。

「採択」の結果を受けて、議会運営委員会を開催し、請願に対しての意見書を提出するかを協議。同日、議員提出議案として提出することを許可しました。

議員提出議案第8号に対する討論

賛成

小畑 博司議員

原発事故以来、漁業関係者をはじめ被災県民として犠牲を強いられてきました。これ以上犠牲を押し付けてはなりません。基準以上に汚染物質を含む処理水を海洋放出する方が無責任であるため、意見書を提出すべきであります。

反対

山口 享議員

請願第3号に対しての討論と同じく、長期にわたり地上タンクで保管することは無責任であると考え、意見書提出に反対します。

反対

赤城 大地議員

この問題は国内のみならず国際社会にまで影響を及ぼすものであり、外交上の課題とも考えられ、意見書を提出することは本議会の権限にそぐわないため反対します。

審議案件に対する賛否の状況（賛否が分かれた議案）

件 名	1 目黒 克博	2 蓮沼 文明	3 物江 政博	4 赤城 大地	5 横山 智代	6 渡部 正司	7 小畑 博司	8 佐藤 宗太	9 山口 享	10 渡部 順子	11 五十嵐 一夫	12 酒井 育子	13 青木美貴子	14 水野孝一
議案第50号 会津坂下町都市計画マスタープランの一部改訂について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長
議員提出議案第8号 福島県の漁業と漁業関係者の生活を守るために東京電力福島第一原発敷地内に保管されているトリチウムを含む処理水の海洋放出に反対する意見書	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	議長
上記以外の議案は全員賛成で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わりません														